



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2015

3月1日号

145
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (659)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

時の流れ



副会長 遊 佐 烈

原発事故から早4年が経過。その間にも色々な事がありました。放射線や放射能に係る講演会等も数多く開催されました。除染作業も行われています。全てが終わった訳ではありませんが、少しずつ復興しているのを感じます。先日、国道6号線が南相馬からいわき方面まで開通したとの事なので実際に自分の目で確かめたくて出かけてきました。

自宅から国道115号線を相馬目指して走ります。途中、除染作業で出た土を袋に入れ、道路わきに山積みになっているのが見受けられます。霊山の山を越える辺りでの空間線量率は $0.35 \mu\text{Sv/h}$ 位ですが、相馬に近くなると線量は下がってきます。

津波の影響を受けた松川浦も大分復興し、店も綺麗になって再開しています。

大きな橋を渡り、右手に松林を臨みながら海岸沿いを走る風光明媚な道路は、橋に向かう信号機の所で封鎖されており進む事が出来ません。6号線を南下して行くと、南相馬市で「自動二輪車・原動機付自転車・軽車両・歩行者の通行を禁止」する立て看板が目に入ります。更に先に進むと「双葉町から先は高線量区間を含むため帰還困難区域」であることを立て看板が教えてくれます。道路のすぐ脇に民家が並んでいますが、道路沿いにはバリケードが設けられ、中に入れないようになっています。十字路では右折・左折が出来ないようにバリケードが設置されその前にはマスクをした警備の方が立っています。空き巣対策もあるのでしょうが、非常に不思議な空間です。警察車両が多く走っていますが、結構ゆっくり走っています。

ガソリンスタンドもありますが人はいません。商店も立ち並んでいるのですが壊れた様子はないのですが店の前にはバリケードがあり、それさえなければ定休日のような気さえしてしまいます。人が住んでいそうな建物が並んでいるのに急に人が消えたような感じです。

高線量区間という事もあり線量計の数値をみていると最高 $5 \mu\text{Sv/h}$ に達しましたが本当に短い区間だけのようです。この道路が開通したおかげで遠回りしていた方々も楽になったと聞いています。パトカーが結構ゆっくり走っていたので車の列も長くなっていましたが、パトカーがいなくなった途端に皆さん速度を上げます。やはり人気のない、右にも左にも曲がれない道、更に高線量と書かれては早く通過したいという気持ちなのでしょう。町を繋ぐ道路、通勤や生活のために必要な道路が開通ただけでもその影響は測り知れない位の経済効果があるでしょう。このような事が復興を実感させるのでしょうか。

テレビで「夜の森公園」の桜並木の周りを除染しているのを見ました。今年桜が誇らしげに咲きほこり、それを待ちかねたように大勢の人が溢れ、笑い声が聞こえ、子供たちが走りまわる日も近いのではないのでしょうか。除染のおかげで数値的には $0.11 \mu\text{Sv/h}$ です。「夜ノ森駅前」では $2.66 \mu\text{Sv/h}$ と高い値ですが、除染が進めば低い値になってくれる事でしょう。

豊かな暮らしのためには何かを犠牲にしなければなりません。低コストで安定的な電力を生み出してきた原子力ですが、事故以来自然エネルギーへの転換が叫ばれています。コストを重視するか安全を重視するか、どちらにせよ後世に負担だけを残すようなことがあってはなりません。安全のために高いお金を払っても良いですか？安全を国が担保するなら原子力に頼りますか？どんな場合も「想定外」という事はありえます。自分の子供や孫の事も考えた上で、貴方はどちらを選択しますか？

研究会・講習会報告

「第21回福島県画像技術研究会」

平成27年1月17日に福島テルサにおいて、第21回福島県画像技術研究会が開催されました。開会挨拶を代表世話人の医大遊佐技師長が行い、研究会がスタートしました。

「救急領域における撮影技術について 基礎とポイント」について医大の田代雅実さんが講演しました。彼は以前から救急撮影に興味があり、自らDAMTにも参加して訓練しています。3月には福島救急撮影カンファレンスを立ち上げます。



(研究会の様子 写真右は代表世話人：遊佐副会長)

「胸腹部単純X線像の読み方・使い方」を、医大の高木忠之先生が講演しました。どうしてもCT・MRIの最先端技術に目が行きますが、基本に立ち返り単純撮影について勉強し再確認できて良かったと思います。若い技師さんも多く参加してくれて、今後の臨床に役立てて欲しいと思います。技師の読影について色々と報告がありますが、県内でも進められればと考えます。

その後の情報交換会でも、県内技師と色々な情報交換を行って有意義でした。なお、代表世話人は、医大遊佐烈さんから村上克彦さんへ交代となりました。

(副会長 新里昌一)

「診療放射線技師 基礎技術講習 MRI検査」

2月15日、(公財)星総合病院ポラリス看護学院で、「診療放射線技師基礎技術講習MRI検査」が開催されました。参加予定は49名で、当日46名の方が参加して受講しました。東京・茨城・宮城からの参加者もいました。齋藤会長の挨拶、堀江生涯教育理事による説明の後、朝9時から16時まで、8つの科目を受講しました。科目は、装置、基礎原理、撮影技術1・2、画像処理・性能評価、安全管理等です。

今回は、県MRI技術研究会の全面協力で、福島医大と北福島医医療センターの技師さんに講師をお願いしました。1日で、MRI全てを講習するというハードな内容ですが、各講師には分かりやすく説明して頂きました。



その後に確認テストを行い、受講証明書を新里副会長から手渡して終了となりました。確認テストは、本部で合否判定し各自にお知らせが届くと思います。合格すれば「MR検査3級」が与えられ、MR専門技師の試験資格が得られます。さらに上を目指す人は頑張ってください。

最後に、会場となった星総合病院の白石技師長と国分さんに大変お世話になりお礼申し上げます。来年度は、統一講習会(静脈抜針・注腸ゾンデ・治療)を優先して行う予定です。

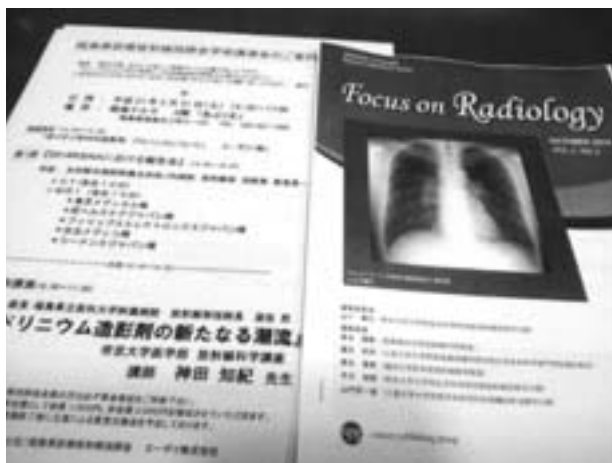
(副会長 新里昌一)

「福島県放射線技師会学術講演会」

2月21日(土)「福島県放射線技師会学術講演会」が福島テルサで開催されました。技師42名でメーカー16名の合計58名の方が参加しました。

第1部は「2014 RSNAにおける報告会」を私の司会で、装置メーカー5社によるCTとMRIの報告を、各10分と言う制限の中で行いました。すでに関連雑誌等には特集も組まれていますが、ホットな話題をいち早く聞きたい要望に応えた報告会でした。

CTでは、各社で逐次近似応用やDual energyの開発を進めている事が分かりました。MRIは、各社で静音化技術に取り組んでいます。また、高速撮像法などの高時間分解能の進化、DIXON法の応用等が目立ちました。



(講演会案内とプログラム)

第2部は「ガドリニウム造影剤の新たな潮流」を福島医大遊佐技師長の座長で、帝京大の神田智紀先生が講演しました。Gd造影剤は排泄されるから安全であり、排泄されないとNSFが生じるとされてきました。正常腎機能でも投与させた約1%程度は、生体内に残留する報告がなされていました。

神田先生は、脳MRIでもGd造影剤の蓄積が確認できる可能性があるとしてRadiologyで報告しました。4-8回程度の造影検査で、小脳歯状核等に徐々に集積してT1強調画像で高信号を呈するようになるようです。Gdの構造式でマクロよりリニアの方が集積しやすいとの事です。病状によるBBB破綻等も、関与している可能性も否定できません。但し、現時点でGd集積による症状の出現や副作用の報告はされていません。



(講演会の様子 帝京大 神田知紀先生)

単純MRI検査で、小脳等に高信号があっても直ぐに異常所見と決めつけずに、造影履歴等の確認をする事で異常所見を否定する事が出来そうです。

(副会長 新里昌一)

平成26年度福島県生活習慣病 (胃がん) 検診従事者指導講習会

前年度までは、隔年で受託していた福島県委託事業・生活習慣病(胃がん)検診従事者指導講習会は、今年度から毎年委託を受けることになり、去る2月7日(土)郡山市ビックパレットふくしまを会場に開催されました。今年度の受講者は59名でした。

賛助会員会社のスポンサー講演もあったので、県受託講習は午後2時から午後5時40分までとなりました。

講習会は四項目から構成されました。

- 1、胃X線検査・初期セミナー「CT画像からみた胃の形態と3D画像でみる胃X線検査の体位」

講師：星総合病院 遠藤 潤先生

座長：わたり病院 会田 怜史さんの進行により進められ、X線CT撮影装置のワークステーションを駆使し胃を立体的に再現させ、体位変換時に胃の各部位がどの位置に来るのかなどわかりやすく説明して頂きました。

- 2、症例検討会「チェック用紙を用いた症例検討会」

講師：坪井病院 下山田 明先生

参加者に読影レポートを配布し、提示された症例に対して、部位、病変の形状や性状、大きさ、肉眼型、組織型、深達度などを記載してもらいました。記載後、レポートをもとに二名の方に読影してもらいました。

- 3、教育講演「精密胃X線検査における撮影のポイント」

講師：仙台厚生病院 川崎 将先生

座長：大原健康クリニック 町田 拓郎さんの進行に

て、精密胃X線検査は、病変の範囲や食道から病変までの距離など術前診断に必要な情報を提供するためルーチン検査にはない緻密さが要求され、高度な撮影技術が必要とすることを述べられ、精密X線検査に必要なタッピングやシェキングなどの撮影手技を、動画を用いて分かりやすくご教授して頂きました。

4、特別講演「胃X線によるHp感染診断のポイント」

講師：宮城県対がん協会 加藤 勝章先生

座長：福島県保健衛生協会 亀山 欣之さんの進行にて進められました。昨今の研究で、胃X線写真に於いても胃粘膜の性状や皺壁の走行や太さなどの違いでピロリ菌に感染している胃なのか、そうでない胃なのかを鑑別できるようになりました。その鑑別方法を用いた背景粘膜診断が今話題になっています。加藤先生には、ピロリ



菌感染の有無をX線写真の症例を提示して頂きながら分かりやすくご教授いただきました。

地区だより

県南地区

「地区協議会 新年勉強会」開催

県南地区新年勉強会が平成27年1月31日(土)郡山駅前ビックアイ7Fでありました。冬の低気圧で関東地区では積雪を記録し、福島県も大雪が懸念されましたが勉強熱心な会員の方が足を運んでくれた事も幸いして、無事開催することが出来ました。

教育講演では現在普及しつつある、『モバイル型FPDシステム』について企画しました。コニカミノルタヘルスケア(株)の佐藤新也先生には「AeroDR と最新トビックス」、富士フィルムメディカル(株)の河西将範先生には「DRCALNEOflex と最新トビックス」と題してご講演頂きました。



(勉強会の様子)

会員研究発表では星総合病院(2題)、太田西の内病院(1題)、白河厚生総合病院(1題)より演題発表がありました。質疑応答でも活発なご意見がありとても有意義な時間だったと思います。

今回、進行と座長を勤めた金澤孝彦さんの感想から「教育講演をされた工業会の先生方、発表された会員の方、お疲れ様でした。勉強会の3日前に座長もやると知り、はめられたと思いました。田代さんの圧力に屈するかたちとなりました。しかしながら、とても貴重な経験が出来ました。研鑽するモチベーションがあがりました。本当にありがとうございました。」

勉強会終了後は場所を移しまして、情報交換会を兼ねた恒例の新年会が行われました。新人技師からベテラン技師まで、幅広い年代の方にご参加頂きました。こちらも有意義な時間でした。(県南学術担当 田代)

「県南地区協議会新年情報交換会」開催

会員20名、賛助会員9名が参加しました。ここ数回は講師の出席がみられません。また賛助会の方が会員よりもこの情報交換会を上手に利用しているなど感心しました。つまり、顔を売るとの情報収集。次回は多数の会員参加を期待します。(県南厚生担当 浜端)

県北地区

「地区協議会勉強会・新年交流会」開催

去る2月7日(土)「県北協議会勉強会」並びに「新年交流会」が福島テルサにおいて開催されました。新年交流会に先立って勉強会が行われ、はじめに北福島医療センターの高橋達さんが「乳腺エコーの現状」について講演し、乳腺エコーの長所と短所、また症例や年齢別の画像を紹介しながら解りやすく解説していただきました。続いて福島医大の田代雅実さんに「THE救急外来頭部CT撮影の基礎とポイント」と題し、頭部CTの解剖や血腫の読影のポイントなど多くの臨床画像の解説も加えながら日常の業務に大変役立つお話をしていただきました。



(勉強会の様子)

終了後には「新年交流会」が行われ、多くの出席者が各施設の情報交換などをしながら交流を深めていたようでした。

(池田)

浜通地区

「相双地区 画像勉強会」開催

平成27年1月21日に浜通り地区協議会の平成26年度相双地区画像勉強会及び懇親会が開催されました。

南相馬市のホテルを会場にし、震災後2回目の勉強会になりますが、29名の技師の皆様が集まり、講師に南相馬市立総合病院放射線科医師、宮内嘉玄先生をお迎えして「画像解剖学のススメ」という演題でお話をしていただきました。時折、先生の方から参加者への質問を投げ掛けや、また福島県の印象などもお話ししていただきました。



(勉強会の様子)

有意義な勉強会でした。その後、別室で懇親会を開催しました。27名が参加していただき、宮内先生も残っていただきました。病院ごとに技師の皆様に挨拶をしていただき、交流を深めました。

(大井)

「第24回いわき地区画像研究会」開催

平成27年1月16日グランパークホテル エクセルいわきにおいて、第24回いわき地区画像研究会が開催されました。

演題は、「SIEMENS RSNA 2014 Flash Report」と題し2014年第100回北米放射線学会にて発表されたMRI、CTの内容を講演されました。

MRIでは、ヘリウムの気化をモニタリングしポンプの稼働をコントロールし稼働コストを低減するMRI「MAGNETOM Amira」CTでは、シングルソースCTでもDual Energyが可能なTwin Beam Dual Energyを搭載する「SOMATOM Definition Edge」の新しい技術の説明を聞き大変勉強になりました。



(研究会の様子)

また、勉強会の後は新年会が行われ、食べきれない程の料理を前に親睦を深めあいました。(菅原)

～お知らせ～

「平成27年度 定時総会」のご案内

東日本大震災から4年が経過しました。被原発事故をはじめ色々問題はまだ山積みとなっています。

前回我々浜・相双地区が定時総会を担当した時には、震災被害により、地元施設が使用できず、ユラックス熱海の会場をお借りして行いとても残念な気持ちがありました。

今年、震災後初めて、いわき市の施設を会場として定時総会を開催することとなりとても嬉しく思います。

徐々にではありますが、被災を受けた地にも人が集まり建物が増え、常磐道も全線開通するなど明るい話題も多く聞かれるようになったいわき市を一度ご覧になってください。

多くの方々の福島県診療放射線技師会定時総会への参加お待ちしております。

(定時総会プログラムなど詳細は今年度発行の会報にて告知いたします。)

第70回 (平成27年度)

公益社団法人福島県診療放射線技師会 定時総会

期 日：平成27年5月23日(土) 13時30分より

場 所：いわき市総合保健福祉センター
いわき市内郷高坂町四方木田191
TEL 0246-27-8555

プログラム

13:30	受	付
14:00	開	会
14:10	学術委員会分科会及び部会活動報告	
15:30	特別講演	
16:45	総	会

告 示

公益社団法人福島県診療放射線技師会定款第23条及び役員選出規定に基づき、平成27・28年度役員の立候補受付及び選挙を下記により行う。

記

1、役員の定数

理 事 14名以上17名以内
(会長・副会長候補者2名を含む)

監 事 2名(内1名は会員以外)

2、立候補、推薦候補届出受付開始日及び締切日

平成27年4月1日より5月3日正午まで

3、届出の方法

立候補届を選挙管理委員会に提出する

4、届出先

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7
公益社団法人福島県診療放射線技師会
選挙管理委員会

5、投票日 平成27年5月23日

第70回(平成27年度)定時総会

以上告示します。

平成27年3月1日

公益社団法人福島県診療放射線技師会
選挙管理委員会
委員長 草野 義直

訃 報

元本会理事 渡部浩一郎氏が平成27年1月19日逝去されました。

元本会理事 村松影治氏が平成27年2月14日逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げますと共に報告いたします

編 集 後 記

編集広報委員会「ニュース担当」となり、「あっ」という間に2年が過ぎようとしています。

会員が知りたい情報、興味を持つニュースなど紙面を充実させる事に対して試行錯誤でした。

課題が見えるという事は、「まだまだ成長出来るって事」と前向きに捉えて、プラス思考で過ごしたいものです。
(白石)